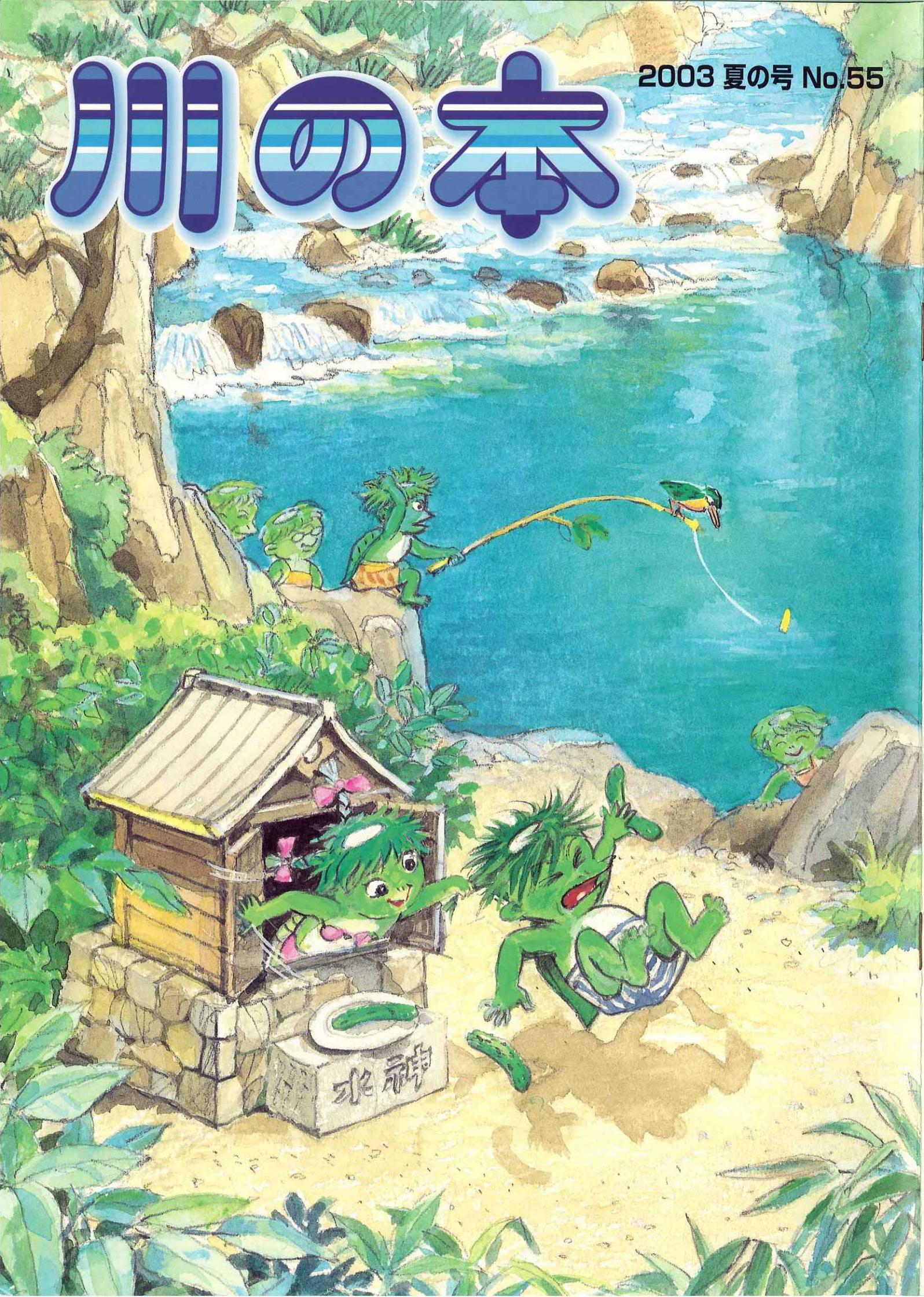


2003 夏の号 No.55

# 川の本



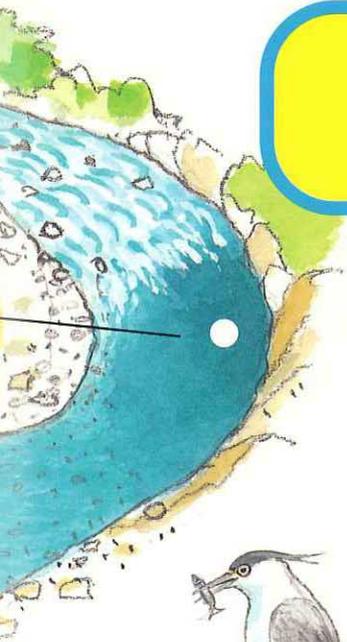
それ以上  
しゃっぺちゃだめよ。  
ないしょの場所  
なんだから



ぼくたちのすむ淵は  
さいこうの場所だね。  
大きな岩がげでさ、  
深くてゆったりできて

# KAPPA NO GAKKO

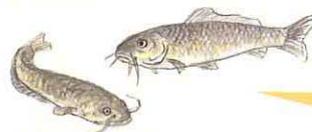
## 川の瀬(せ)と淵(ふち)



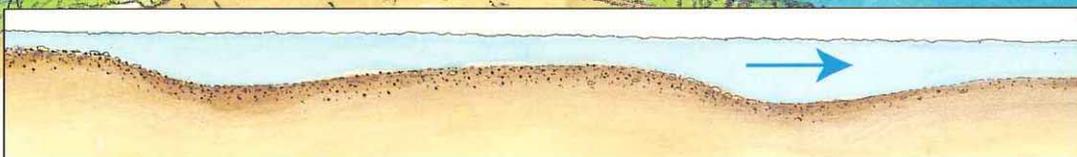
川にすむ  
生き物たちにとって  
瀬と淵は  
それぞれ役割があり  
大切な場所なんだ

瀬と淵は、川底の形できまるんだ。  
川底の形は水の流れ方や強さなどで変  
化する。流れがほぼまっすぐな部分は  
瀬になるし、流れの曲がりかどや流れ  
をさまたげる大岩などがあるところ  
は淵がでやすい。  
●瀬は川底に石がごろごろしている浅  
い部分で、川の大部分は瀬なんだよ。  
●淵は川底が深くえぐられたところで  
流れはゆるやかだよ。

瀬と淵って  
川のどの部分で  
どんなところなの？



オレたち大型の魚は  
下流の淵がすみなかのさ



下流になるほど流れはゆるやかになり川底も平らになってきて、瀬と淵の区別がつきにくくなる。



ここにあてはまる  
文字は瀬か淵か？



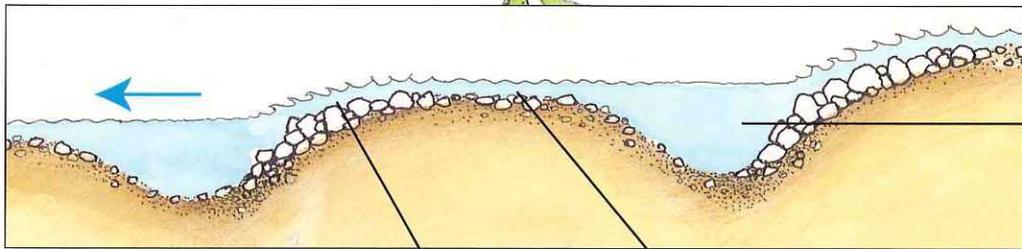
[Blank box]



[Blank box]

ここは？

川の流れがまっすぐなところには、  
淵はできにくい。  
しかし大岩などがあると、流れが  
岩のまわりをえぐって淵をつくる  
こともある。



淵

平瀬では、さざ波はたつけど  
白波はたたない。  
川底が見えやすい。

平瀬

早瀬

早瀬は、白波がたつので  
すぐわかる。

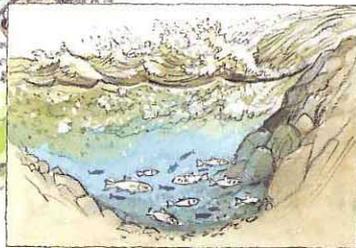
淵は、小さな魚の赤ちゃんが  
育つのに都合がいい。  
また洪水の時は、  
いろんな魚たちが逃げ  
こんでくる。

淵



平瀬も早瀬も  
太陽の光がいっぱい  
とどくので、藻(も)や  
水生昆虫が育つ

瀬は、えさをとるのにも  
卵を生むのにも  
もってこいの場所だ。



# しらびげみず

(白髭洪水) 岩手県 北上川

むかし、早池峰山(はやちねやま)のふもとに小さなお寺があって、そこに一人のお坊さんがひっそりと住んでおった。

ある晩のこと、お坊さんはいろりで餅(もち)を焼いておった。

「おお、うまそうにぶくらと、ふくらんできたぞ」

お坊さんは手をこすりながら、焼きあがった餅に手をのぼそうとしたその時じゃ。何者かがことわりもなしにすかずかと部屋に上がりこんできたんじゃ。見るとおそろしげな山姥(やまんば)じゃった。

ボサボサの髪(かみ)しわだらけの顔、ギョロツとした大きな目、骨ばったほほ、口はおどろくほど大きく、とがった歯をしておった。

お坊さんはすっかり恐ろしくなつてガタガタとふるえておった。

山姥はそんなお坊さんには目もくれず、焼き上がったばかりの餅をパクパクと口にほうりこんで、またたくまに全部食べてしもうた。

そして礼の一言もいわずに帰っていったんじゃ。

山姥がいなくなるとお坊さんはだんだんと腹が立ってきた。

「無礼なやつじゃ。わしの餅をことわりもなしに全部食べおって・・・

しかしまあ、餅だけですんでよかったのかもしれんて」

と、少しはほっとしたんじゃな。

ところがじゃ翌日の夜、お坊さんが餅を焼いていると山姥が

またやってきて、焼いていた餅だけでなく、これから焼こうとしていた

かたい餅までペロリと食べたあげく、かたわらに置いていた酒までぐいっと飲みほして何もいわず帰っていった。

「ううむ山姥め、ゆるせん　ゆるせんぞえ。この調子じゃまた来るにちがいない、こんどこそこらしめてやるわい」

決心したお坊さんは次の日、近くを流れる北上川の河原から

白い石をひろいあつめてくると、まるで餅のようにいろりに並べて焼き、とつくりには酒のかわりに油を入れておいたのじゃ。

おもったとおり山姥は、その夜もまたずかずかと入ってきた。

そして焼きこんだ白い石を餅とまちがえてパクパクと飲みこむように食べ、さらに、とつくりの中の油を、酒とまちがえて一気に飲みほしたから、さあ大変。

お腹の中は、焼けた石の熱で油に火がつき、ポウツと燃え上がった。

「うううつ水、水」

山姥は口から火を吹きながら、苦しそうなうめき声をあげ

「いのままじゃすまんぞえ」

と、いいのこして姿を消したんじゃ。

それから間もなくして、早池峰山に大雨が降り出し、七日七夜も続いたんじゃ。

北上川は、荒れに荒れくるい大氾濫(はんらん)を起こしてしまった。

洪水は田畑も家ものみこんで、いちめんを水びたしにしたとき、白いひげの老人が濁流(だくりゅう)の上(うへ)に仁王立ちになって流れていったそうな。

それを見た村人らは、あの白いひげの老人は山姥にちがいないとうわさした。

それ以来、洪水はこの老人の起こすものとして、しらひげみず(白髭洪水)と呼ぶようになったそうな。

## しらひげみず伝説と北上川

紹介したお話は、岩手県北上川流域の各所に残る「白ひげ水」という伝説を再話したものです。所によっては山姥が集団でやってきたとか、または男の老人であったりもします。しかしお話の筋はほとんど同じで、白ひげの老人が洪水に乗ってやって来たところ(ころ)は同じです。

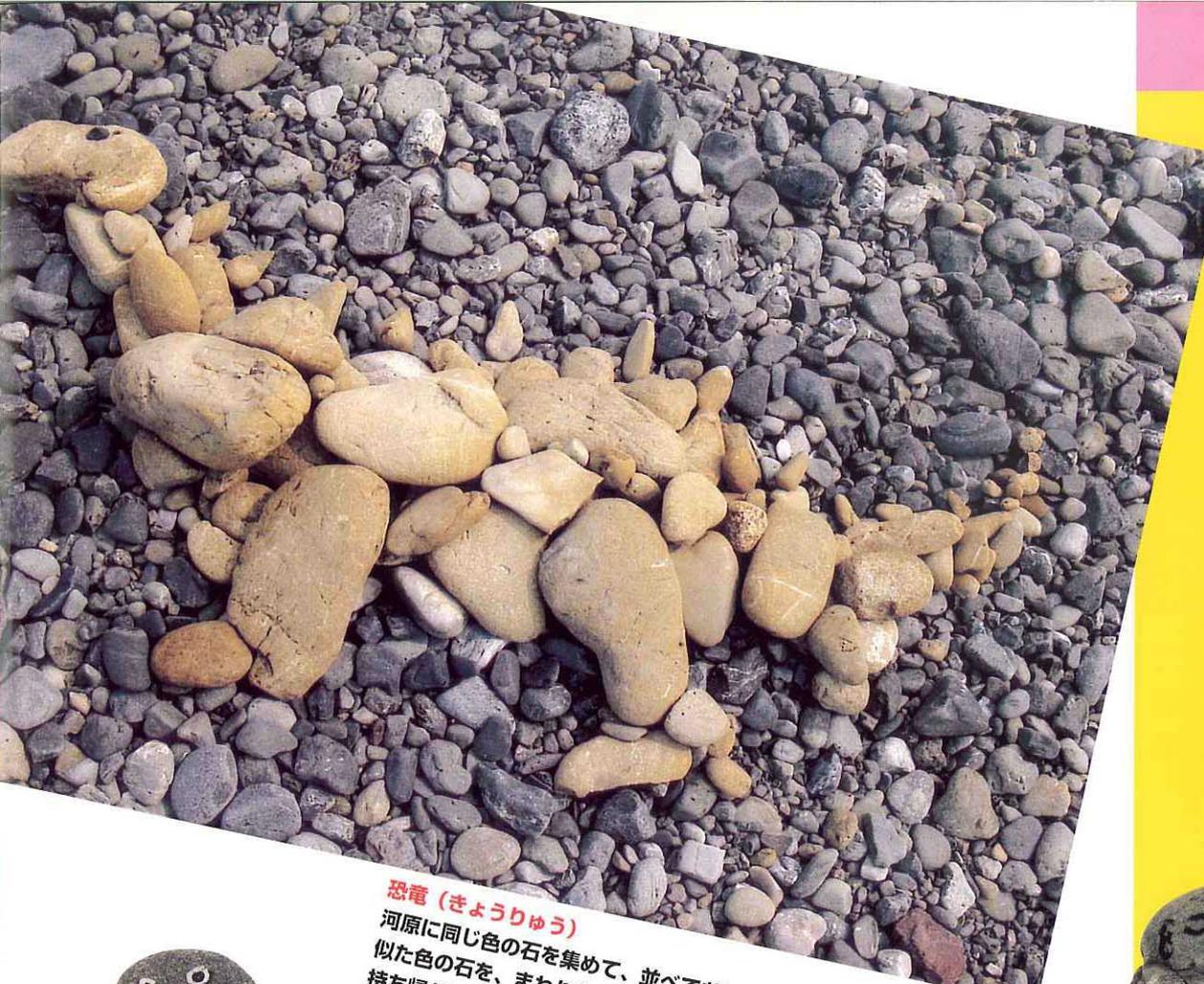
北上川は昔から、流域に多くの恵みをもたらす反面、たびたび大洪水を起こし、この地の人々を苦しめてきました。田畑ばかりでなく人々の命までうばうほどの大洪水もくりかえしたのです。この大洪水の恐ろしさを白ひげ水と呼ぶようになったのは、二四七年(宝治元)の花巻地方の大洪水からだと言われています。さかまく濁流(だくりゅう)が水しぶきを舞いあげながら、村々におそいかかってきた姿が目(め)に浮かぶ(う)うですね。

北上川は、奥羽山脈や北上山地の水を集めながら、ほぼまっすぐに南へ流れ太平洋をめざします。その長さは二四九キロメートルもある東北一長い川です。



# 河原の石ころで遊ぼう

夏の川原へ出かけよう。  
冷たい水で遊んだり熱い石ころで遊ぼう。  
おもしろい発見がきつとみつかる。



**恐竜 (きょうりゆう)**  
河原に同じ色の石を集めて、並べておいただけ。  
似た色の石を、まわりから取りのぞいておくと形がはっきりする。  
持ち帰れないから写真をとっておこう。



**タマちゃん**  
前あしや後あしの石は、石粉粘土でつなぎ、かわいてから色をぬった。



**お地藏さん**  
白いつぎめは紙粘土、色をぬることもできる。

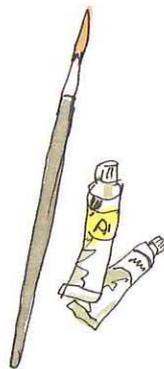


**ねむりねこ**  
丸い石ころに色鉛筆でかいたもの。

石と石は粘土でしっかりつなぎあわせる。紙粘土より石粉粘土の方がつきやすい。完全に乾いてから、もしはずれたら、はずれた粘土の両面にポンドをつけて、つなぎあわせよう。



**トーテンポール**  
アクリル絵具でかいたもの。  
ポスターカラーや不透明水彩でもかける。



小石をひっくりかえしたり、さかさまにしたり、斜めから見たりしている  
と、人の顔に見えたり、あざらしに見えたりイメージが広がる。  
石には鉛筆でも、マーカーでもクレヨンでも絵がかける。  
いろいろ試してみよう。





ぼくのはベツタンゴ石だ  
それいけ!

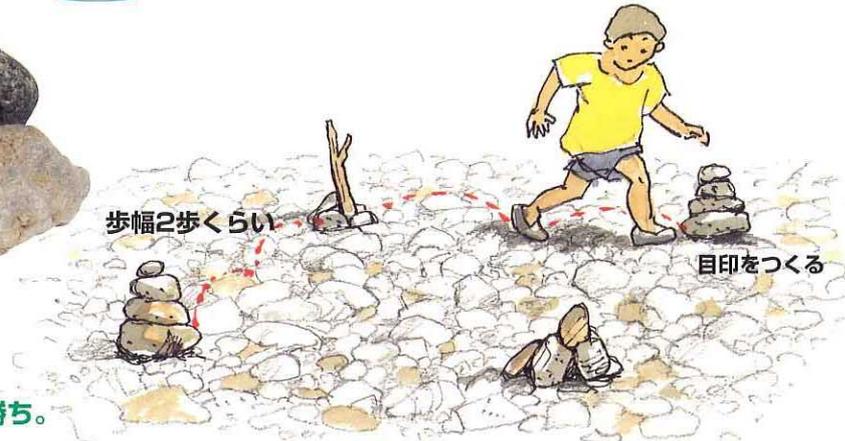
水切り競争  
どんな形の石がいいのか  
いろいろためしてみよう。

ぼくのはビー玉の  
ような石だ



## 石集めをしよう

2歩はば四方くらいの範囲の中で  
たくさんの種類の石を集めたほうが勝ち。



## 集めた石にニックネームをつけよう

例 ゴマダンゴ石 ツルツル石  
ツルピカ石 ミドリ石  
チョコレート石 シマシマ石  
イカスミパン石 など。

川原の石には、地底からマグマが吹き上がって  
かたまつた石など、いろいろあるが、  
みんな川が、山からはこんできたもの。  
石を調べると川のふるりの地質がわかる。

夏休みの  
自由研究も  
宿題もバッチリよ  
とにかく  
川はおもしろい



川には総合学習の課題もいっぱいある。  
とにかく川へ出かけよう。

これなんだ？

## キロ杭(くゝ)

写真のような、堤防の上に設置された杭  
を見たことはありませんか。

これはキロ杭とか距離標といわれるもの  
で、海からの距離を表わし、堤防などの位  
置や高さがわかる目印となっています。そ  
のため河川工事や調査など、河川管理には  
とても大切なものです。(支川のキロ杭の  
場合は、本川との合流地点からの距離を表  
わしています)

キロ杭の設置は、国が管理している区間  
では、約200mおきに建てられているの  
で、さがしてみましよう。

川へ遊びに行ったり、総合学習で川を調  
べに行った時など、キロ杭を活用して自分  
がいる位置を確認したり、ジョギングや散  
歩などの目安にすることもできます。



# 川の仲間たち

## カジカガエル (アオガエル科)

ぼくはカジカガエル。体長4cmくらいのチビガエルだけど、ぼくの声をはじめて聞いた人はみんなおどろくんだ。「うそでしょ鳥か虫の声よ」なんていうんだ。「ヒュルルルゥ〜」とか「ホロホロホロ〜」とか人によって聞こえ方はいろいろだけど、きまってだれもが「なんて心地よい美しいひびきなの」と聞きほれるんだよ。

聞ける時期は4月から7月くらいの間、しかも夕方にかぎる。

場所は川の上流部、大小の石がごろごろしている川原には澄んだ水が流れていて、岸边には暑い日ざしをさえぎる樹木や草が生えている。そんな豊かな自然があるところだよ。

ぼくたちカジカガエルが、いつまでも歌いつづけられるように自然の川を大切にしてほしいな。

ぼくの自慢は  
美しい声と吸盤だよ  
大きな石や岩に  
しっかりとしがみつけるので  
簡単には流されないぞ

ヒュルルルル  
ヒュルルルル

聞きほれるね

### 河川愛護月間

7月1日→31日

7月7日は川の日です

財団法人 河川環境管理財団  
Foundation of River & Watershed Environment Management

(〒104-0042) 東京都中央区入船1丁目9番12号  
TEL (03) 3297-2600 (代表) <http://www.kasen.or.jp/>